

3か月内に登録された団体のご紹介

■ 団体

伊丹市の香害を考える会
一般社団法人 夢叶
NPO法人 地域見守りネットServe
ここにこボランティアらいふネットワーク伊丹
おおきな木
有岡小学校区まちづくり協議会 (敬称略)

個人登録も随時受付中

これから市民活動に参加してみたい、
という方の個人登録も大歓迎です。
まちプラと一緒に地域活動を始めませんか？

広報お手伝いします

【モニターでの情報発信】

カウンターに設置している「まちプラモニター」で、登録団体の情報を紹介しています。活動内容・イベント告知・ボランティア募集など発信したい内容と、写真やチラシなどの素材をご提供ください。

【チラシラックのご利用】

市民まちづくりプラザ専用のチラシラックがあります。登録団体は無料でご利用いただけます。さまざまな世代の方が訪れる場所ですので、ぜひご利用ください。

【SNSでの情報発信】

市民まちづくりプラザのInstagram・Facebookページ・Xでも、登録団体の活動を発信しています。より多くの方に知ってもらうチャンスです。

【お気軽にご相談ください】

チラシの作り方やSNSでの発信の仕方など、広報に関するご相談はいつでもどうぞ。あなたの活動をもっと皆様に知ってもらい、活性化できるようにお手伝いします。



SNSで情報発信中！
フォローしてね！



Instagram ホームページ X Facebook

編集後記



冬の昆陽池

指定管理者となってから、1年が過ぎようとしています。『まちプラびより』も2025年度最後の号になります。

2025年度は、市民活動をされる方に『市民まちづくりプラザ』を知ってもらいたいという思いで、『まちプラびより』の作成に取り組みました。スタッフ一同、市民活動に関する相談業務を行うかたわら、取材に出向き、記事の構成を考え、文章を練るなど、慣れない作業にも一生懸命取り組んできました。

2026年度も1人でも多くの方に『市民まちづくりプラザ』の存在を知ってもらい、気軽に足を運んでもらえるよう、これからも情報発信に努めていきます。

伊丹市立市民まちづくりプラザ

TEL : 072-780-1234 / MAIL : icm.puraza@gmail.com

〒664-0015 伊丹市昆陽池2-1 スワンホール 1階

開館時間 午前9時～午後6時

休館日 月曜日 (祝日の場合はその翌日)・年末年始

発行人 中山 光子 編集人 平岩 伊佐子



2026
3

まちプラびより

VOL.04

まちプラ、みんなでジャンプ号



NPO法人「いたみ野良猫をふやさない会みゅうみゅう」の皆さん

登録団体インタビュー

「猫と人が共生できる社会を」

～『いたみ野良猫をふやさない会みゅうみゅう』の願いと活動～

『いたみ野良猫をふやさない会みゅうみゅう』（以下、『みゅうみゅう』）は、毎年100匹を超える猫に不妊・去勢手術を行い、地域猫の保護や、里親を見つけて譲渡する活動をしています。2014年に地域団体として設立。その2年後にNPO法人格を取得しました。2014年度に伊丹市の協働事業に採択され、2015年度から2021年度まで、伊丹市の地域猫相談事業を受託しました。伊丹市と協働で作成した『地域猫活動ガイドライン』も成果の一つです。

代表の川瀬あや子さんがこの活動を始めたきっかけは、自宅の敷地内で猫が子どもを産んだことでした。個人的に引き取り先を探しましたが、市に相談してもなかなか進展せず、みずから立ち上がる決心をしました。



保護猫譲渡会の様子



市民まちづくりプラザで、インタビューに答えてくださった、川瀬さん（左）、西川さん（右）

これまで活動をする中で、悲惨な現場をずい分見てきました。とくに忘れられないのは、餓死した母猫のそばにいた子猫を保護した時のことです。動物病院でレントゲンを撮ると、泥水を飲んだか砂を食べたのか、胃の中が砂でジャリジャリになっていました。また多頭飼育崩壊の現場にも臨みました。中はゴミ屋敷で、床一面がフンの山となり、タンスの裏で子猫が死んでいました。共食いもあったそうです。

こういう体験を通じて、川瀬さんはいのちの重さを痛感しました。過酷な環境の中でも、猫たちは必死に生きようとしています。そのいのちをどうするかは、人間の心ひとつで変えられます。活動を続ける原動力になったのは、救えるいのちを何とかして救いたいという使命感でした。

それだけに、譲渡会をへて里親になっていただいた方から、「こんなに元気にやっていますよ」と猫の写真や動画が届いたときには、大きな喜びを感じます。過酷な環境の中にいた猫が、飼い主さんのもとで幸せに暮らす姿を見ることが、川瀬さんをはじめ『みゅうみゅう』のスタッフの最大のやりがいになっています。

一方地域では、避妊や去勢手術をせずに猫の餌やりをして、鳴き声や糞尿などのトラブルとなるケースもあります。猫と人が共生していくためには、ルールを守って餌やりをすることが大切です。人と猫が共に暮らすことで互いに幸せになれるような理想のまちを、『みゅうみゅう』は目指しています。

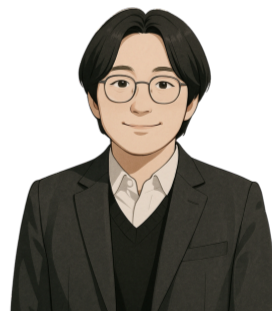
NPO法人コラム 「社員（正会員）が10人いる意味」

NPO法人を設立する際、「10人以上の社員（正会員）が必要」というのは、NPO法人の大きな特徴ですが、同時に一つのハードルにもなっています。

そのため、設立時に名前だけ借りるケースもあるようですが、これはあまりお勧めできません。メンバーが名前だけの人になると、NPO法人の義務である年一回の総会が形だけになってしまうからです。

NPO法人は、人を中心とした団体（社団）です。NPO法で社員が10人必要だとしているのは、そのメンバーで協力しながら活動するためです。つまり設立時のメンバーは、団体にとってかけがえのない財産なのです。これをハードルではなく、将来の飛躍のためのステップだと前向きに捉えていきましょう！

市民まちづくりプラザ
宮下 隆二



「NPO手続き徹底解説講座」

今回の講座では、NPO法人が県へ提出する事業報告書等について、特に誤りが多い項目を中心に解説しました。中でも複雑になりがちな計算書類は、書き方を理解すれば自分でも点検できるようになるため、一つひとつ丁寧に確認。役員の任期や記載方法についても、実際の書式を見比べながら分かりやすく進めました。講座後の質疑応答では、参加者全員に発言の時間を設け、率直な疑問や感想を共有しました。

「NPO法人を立ち上げる意味とは？」という問いには、来年度開催予定のピンポイント講座『NPO法人ってなに？』で事例を交えながら詳しく学べることを案内。「すぐに法人化する予定はないが、少しずつ学びたい」という声には、「事業が動き、資金が回り始めるタイミングで法人化を検討すればよい」と助言しました。また、「これまで理解しないまま書類を提出していたが、今日整理できた」という前向きな声もありました。

初めて計算書類を作成する参加者には、必要に応じて『市民まちづくりプラザ』での個別相談を案内。質疑応答の時間をもつことで、参加者が自信をもってNPO活動に取り組める力を身につける機会となりました。



PICKUP! ピンポイント講座 居場所づくりのはじめかた



本講座は、「地域参加の第一歩になれば」という思いを込めて企画。日ごろからまちプラに関わってくださっている『スリーパンプキンZu』『からふるいたみ☆子どもネットワーク（ばあ〜ばのおうち、小鳥と鈴、にぎちゃんのボランティア学習室）』の方々から事例紹介をいただき、その後、座談会を行いました。これから居場所づくりを考えている方をはじめ、行政関係者、子どもの育成に関わる方、市民活動に関心のある方が参加されました。参加者からは、「各団体の活動を詳しく知ることができ、直接話せてよかった」「生の声を聞くことで視野が広がった」といった感想が寄せられました。また、発表者からも「関係者同士が集まる貴重な機会となった」という声が聞かれました。講座を通じて、人と人がつながる場となり、今後の市民活動の広がりや活性化が期待される時間となりました。

PICKUP! 団体活動訪問 NPO法人 地域見守りネットSERVE



地域の中で子どもたちの居場所づくりと食を通じて育むこども食堂『みどりっ子食堂』や、シニアが安心して集い、食事や交流を楽しめる『ナイス待夢』などを開催しています。取材に行った『ナイス待夢』では、多くのシニアが笑顔で楽しそうに過ごす姿を見ることができ、代表の「シニアが地域コミュニティから孤立しないように」という思いが伝わってきました。

その他にも、スマホ教室や詐欺防止講座でのシニアへの支援や、子どもの不登校に目を向けた活動など多様な住民が参加できる活動をしています。毎月第4木曜日の10:00～15:00には大鹿交流センターでどなたでも気軽に立ち寄れる『ナイスCafe』を開いており、誰もがほっとできる居場所として利用されています。

HP



Instagram

